

■暫定的な JASPO 外来がん治療専門薬剤師の認定についての Q&A

<質問 1>

JASPO 外来がん治療認定薬剤師 (APACC) の認定を受けていて、2020 (令和 2) 年度の JASPO の連携病院研修を受講しましたが、暫定的ではなく 2024 (令和 6) 年 4 月以降も更新可能である通常の外来がん治療専門薬剤師 (BPACC) の認定を取得することはできますか？

通常の外来がん治療専門薬剤師の認定は、2022 (令和 4) 年 4 月からになります。2022 (令和 4) 年 2 月目途に申請の受付を開始するので、それまでお待ちください。認定薬剤師であって、2022 (令和 4) 年 3 月より前に、専門薬剤師の認定を必要とする場合は、まず暫定的な認定申請手続きを行ってください。なお、認定薬剤師を対象とした暫定的な専門薬剤師認定の手続きは、病院、診療所または薬局での勤務歴 5 年以上などの要件を満たしていれば、連携病院研修の受講がなくても差し支えありません。

<質問 2>

2022 (令和 4) 年 3 月末で更新期限を迎える JASPO 認定薬剤師ですが、更新のときを待って、暫定的な専門薬剤師の認定を申請することはできますか。

認定薬剤師が 2022 (令和 4) 年または 2023 (令和 5) 年のときに更新される際、要件を満たせば暫定的な認定薬剤師の申請を行うことができます。手続きについては、2022 (令和 4) 年 2 月目途にお知らせします。なお、暫定的な専門薬剤師の認定の終了は 2024 (令和 6) 年 3 月末で、その後は認定薬剤師の認定に復帰します。

<質問 3>

JASPO の認定薬剤師ではありませんが、2020 (令和 2) 年度の JASPO の連携病院研修を受講しました。2021 (令和 3) 年 8 月から始まる専門医療機関連携薬局制度に合わせて、JASPO 専門薬剤師の認定を取得したいのですが、暫定的な専門薬剤師の申請はできますか。

暫定的な専門薬剤師の認定申請ができるのは、2021 (令和 3) 年 4 月の時点で、JASPO の認定薬剤師に認定されている場合だけです。

なお、連携病院研修を受講済みであれば、認定薬剤師の試験 (筆記、事例審査、面接) に合格し、病院、診療所または薬局での勤務歴 5 年以上などの要件を満たした時点で、暫定的でない専門薬剤師の認定申請ができます。

<質問 4>

病院に勤務している JASPO 認定薬剤師で、当面、薬局に転職する具体的な予定がないのですが、暫定的な専門薬剤師の申請はできますか。

病院、診療所または薬局での勤務歴 5 年以上という要件を満たしていれば暫定的な認定の対象になります。ただし、2021(令和3)年8月から医薬品医療機器等法の改正の施行に伴って新設される「専門医療機関連携薬局」に対応するため、当面の間は、薬局勤務者および薬局勤務予定者を優先的に審査対象としますので、その他の方は認定までに日数がかかる可能性があることについて、ご承知おきください。